

ながの門前 まちあるき

12/25木
13:30・15:30

門前で暮らす人や働く人が
それぞれの視点でお店やたて
ものや暮らしを案内します。

vol. 234 「石」めぐりの旅

大昔から身近な材料として使われ
てきた「石」。まちなかにある「石」
から読み取れるストーリーに思い
を馳せます。

持ち物：ルーペ（あれば）

※カフェ休憩時の飲み物代、実費
500円程度必要



ガイド

塚原 秀之 つかはら ひでゆき
長野市埋蔵文化財センター 学芸員

大学生の頃、縄文時代の石器に使われた「石」
に惹かれ、各地に出かけては石を拾って持
ち帰っていました。市の学芸員として戸隠の
伝統的な町並みの保存に携わったことで歴
史を活かしたまちづくりに傾倒。現在は市内
各地の遺跡の発掘調査に動いています。

参加募集

集合：まち暮らしたてもの案内所（R-DEPOT内）

参加費：ながの門前まちあるき 1,000円（U22 無料）

空き家見学会相談会 500円（U22 無料）

定員：各10名 ※要申込

申込み：☎026-219-2280（月曜休）✉info@r-depot.com

空き家 見学会&相談会

12/10水
見学 14:00・15:30
相談 15:30+

借りられるかもしれない空き家
まだ貸すか決めていない空き家
を見せてもらいます。まちの歴史
や空き家を活用したお店の紹介も
します。見学会の後、空き家を
活用してやりたいことについて個
別でお話しをします。

<12月見学コース>

長門町元衣料品店→東町元下宿
→田町元料亭



須藤 悠 すどう ゆう
R-DEPOT スタッフ

大学生の時に空き家を借りて、改修しながら
住んでいた経験から空き家の腐に。まちの
空き家や古道具を引き継ぐR-DEPOTに入
り、日頃から善光寺周辺にある空き家の情報
収集に力を入れている。

空き家
こぼれ話

R-DEPOT は古道具の買取・販売事業もしてい
ます。古道具の買取から空き家の話に繋がるこ
ともあります。まずは家財の片付けから、その
後建物をどうするか考えるという方も多いです。

窓口開設中！
R-DEPOT



いろんなこぼれ
話にきてみて

例えば...

- ・長野に住みたい
- ・お店をはじめたい
- ・家財を引き継ぎたい
- ・場所がほしい
- ・にぎわいをつくりたい
- ・アイデアがほしい

場所：長野市西後町 610-12 R-DEPOT

時間：10:00~17:00（月曜休）

問：☎026-219-2280 ■info@r-depot.com

「まち暮らしたてもの案内所」は
長野市中心市街地遊休不動産活用事業*
の一環で官民連携により実施しています。

*長野市中心市街地遊休不動産活用事業
（2015年～）

【主催】長野市中心市街地活性化協議会
【問合せ】事務局 株式会社まちづくり長野
（電話 026-267-5323）

【プロジェクト】

①西鶴賀町エリアリノベーション（2020年～）

拠点 / 9軒長屋
協働 / 長野県建築士会ながの支部

②石堂町エリアリノベーション（2022年～）

拠点 / まちかど図書館ぼたん
協働 / 長野県立大学 築山ゼミ

③まち暮らしたてもの案内所（2024年～）

拠点 / R-DEPOT
協働 / R-DEPOT

発行：まち暮らしたてもの案内所



まち暮らし たてものの会議

まち・暮らし・たてもの、それぞれの専門家がいたり、いなかったり。空き家・空き地の活用を中心に、まちの催しやこれからできるお店のこと、面白い人のことなどいろいろな話をします。いろんな人に参加してほしいです。



第32回
12/12金
16:00・17:00

門前のリノベ物件事例の
情報発信について

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

オープン直前のリノベ物件の
振り返り（現地に行けるかも）

... etc

第33回
12/26金
16:00・17:00

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料



議題
門前の空き家活用事例の
発信について

参加者：5名

第28回

10/10

最近、善光寺周辺はインバウンドも含めて、観光客が多くなっているが、善光寺に参拝するだけのスタイルが多い。門前の良材の一つである路地に広がるリノベーションの店などもあるが、リノベーションの情報が届くのか、SNS、評判、実際に何が直しているのか、シンポジウムなど開催して専門家と話をしてみたいという意見もあった。

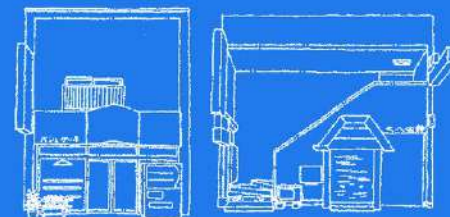
議題
まち暮らしたてものの案内所
便りについて

参加者：3名

第29回

10/24

まち暮らしたてものの案内所を設置し、まち暮らしたてものの案内所を再開させてからおよそ1年。毎月発行してきた案内所便りも1年分になり、デザインや配布状況、認知の具合などについて話し合いました。来年度からは、また違ったデザインの便りが届けられるかもしれません。



まち暮らしたてもの 案内所便り

2025

12月

まちでくらし、
まちを歩いて、
まちのことを話す
わたしたち

